

警察情報通信設備・機器の整備等による 災害対応力の強化(令和4年8月3日からの大雨)

効果概要: 令和4年8月3日からの大雨の影響で発生した河川氾濫の現場において、整備した映像伝送用資機材により、被災状況や警察部隊の活動状況等をリアルタイムに警察本部、警察庁、首相官邸等へ伝送することにより、迅速な情報の共有、効果的な部隊運用を実現した。

府省庁名: 警察庁

- 実施主体: 警察庁長官官房通信基盤課
- 対策の概要: 災害時における警察通信設備・機器の機能を強化するため、全47都道府県において、映像伝送用資機材等の更新・増強等を実施した。
- 事業費: 事業費約9億円
(うち3か年緊急対策による事業費約9億円)
- 効果: 災害現場映像をリアルタイムに伝送することにより、警察本部等との迅速な情報の共有、効果的な部隊運用に貢献した。



令和4年8月3日からの大雨への対処では、山形県警・新潟県警・石川県警・福井県警が災害現場映像の撮影・伝送を実施。
山形県警ではドローンを用いた上空からの情報収集も実施。